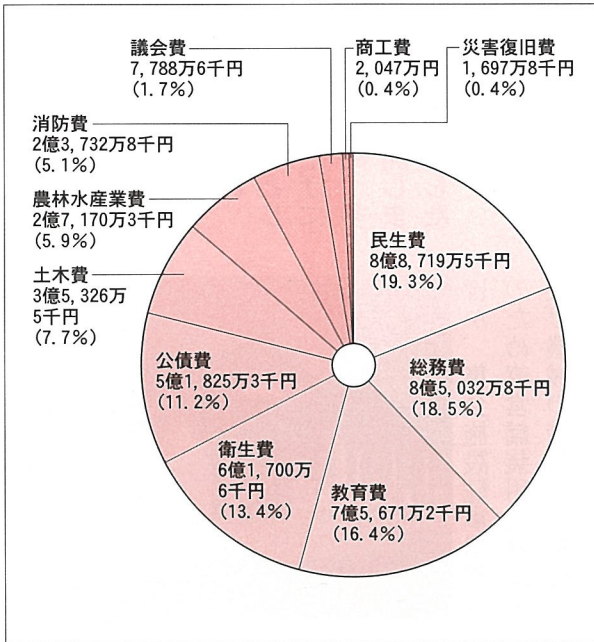


一般会計 歳入・歳出決算の内訳

歳出(町が使ったお金) 46億712万4千円
(対前年度 1億6,346万3千円減)



歳入(町に入ってきたお金) 48億8,373万円
(対前年度 2億1,154万4千円減)

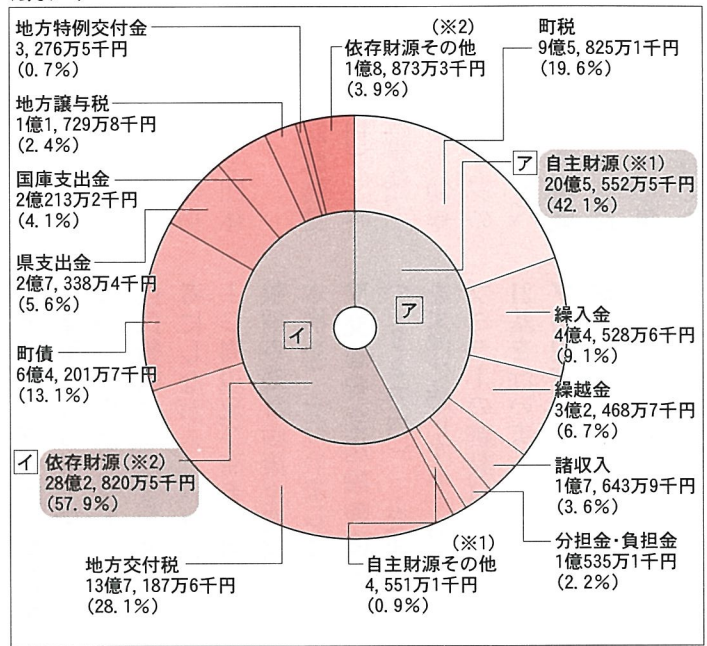


表2 人口1人あたり及び1世帯あたりの町税、一般会計歳出決算額

町税負担
1人あたり
78,500円

歳出決算額
1人あたり
377,417円

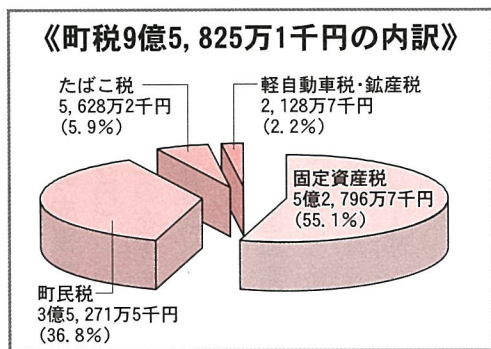
町税負担
1世帯あたり
245,768円

歳出決算額
1世帯あたり
1,181,617円

平成17年3月31日現在 人口=12,207人 世帯数=3,899世帯

(注)

- ※1 自主財源
町税など町が自主的に収入することができるお金であり、「自主財源その他」としては使用料及び手数料、財産収入、寄附金がこれにあたります。
- ※2 依存財源
国、県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入をいいます。「その他依存財源」として、地方消費税交付金などの交付金がこれにあたります。



収入の中で大きな割合を占めているのが、町税と地方交付税です。町税は、みなさんから納めていただいた町民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税など9億5,825万1千円で、前年度と比べ1,819万3千円減少しました。地方交付税は、町税収入だけでは賄いきれない財源を補うため国から交付されるもので、交付額は13億7,187万6千円で、前年度と比べ1億3,570万2千円減少しました。

歳入(入ってきたお金)

支出の中で構成比の大きい項目で大きく増減のあった項目をみてみますと、民生費では、主に保育園施設事業補助金、障害者居宅生活支援事業の増に伴い前年度と比べ3,324万7千円の増加となりました。教育費では、主に中学校校舎等改築事業が終了したため、前年度と比べ2億8,642万3千円の減少に、公債費では、主に平成7・8年度に借入れした減税補てん債の借換えのための元金を一括償還したことにより、5,472万3千円の増加に、農林水産費では、堆肥舎建設に伴う新規補助(バイオマス活用フロンティア整備)事業があったため、3,833万5千円の増加となりました。

歳出(使われたお金)

支出の中で構成比の大きい項目で大きく増減のあった項目をみてみますと、民生費では、主に保育園施設事業補助金、障害者居宅生活支援事業の増に伴い前年度と比べ3,324万7千円の増加となりました。教育費では、主に中学校校舎等改築事業が終了したため、前年度と比べ2億8,642万3千円の減少に、公債費では、主に平成7・8年度に借入れした減税補てん債の借換えのための元金を一括償還したことにより、5,472万3千円の増加に、農林水産費では、堆肥舎建設に伴う新規補助(バイオマス活用フロンティア整備)事業があったため、3,833万5千円の増加となりました。